

2年部だより

令和7年11月28日

チャンス チャレンジ チェンジ Chance Challenge Change(3つのC)

思春期講座

11月6日(木)、宮崎クリニックの宮崎先生を講師に、例年2年生対象に行われる「思春期講座」が実施されました。体と心のバランスが多様な人がいるが、すべての人がお互いを理解・尊重し合い、生きづらさを感じない社会の大切さなど、たくさんのこと学びました。生徒の感想を以下に載せます。

今の体の大切さを知りました。思春期は、「こんなにも変わる大切な時期」ということを実感しました。動画を見て、お母さんたちは、陣痛に耐えて、辛い思いをして、人生最大の痛みを乗り越えて産むことができるなんてかっこいいし、感謝しなければと思いました。

「性別違和」などのジェンダーレスという言葉は、知っておかないといけないと思いました。1人1人が「自分」や「個性」を持つことは良いことなので、受け入れられる世の中にいてほしいです。誰もが、周りの人々に相談したり、伝えたりすることができた方が生きやすくて良いと思いました。

宮崎先生が教えてくれたことは、これから私たちにとって大切な話で、分かりやすく、理解しやすかったです。ありがとうございました。

福祉講座

11月20日(木)、美芳会デイサービスセンターはまかぜによる7種の職業講話を聞きました。キャリア教育の一環として、福祉の現場での仕事内容や使用する用具についての講話を聞きました。生徒の感想を以下に載せます。

【介護士】

今まででは、“介護”と聞くと、高齢者の全面的なサポートだと思っていましたが、利用者さんの意思を尊重した日常的なサポートの介護だと聞いて、とてもあたたかいと思いました。肉体的にきつい職業ですが、やりがいを感じる素敵なお仕事だと感じました。

【看護師】

看護師としてのこれからのお目標が、「慣れない」ということに驚きました。人の思いや言葉、相手の状況に対して真摯に向き合おうとする姿は、看護師だけではなく、色々な職業の人にも当てはまることがあります。

【歯科衛生士】

歯医者さんとは異なる職業で聞いたことがなかったので、今回、お話を聞くことができてうれしかったです。歯をきれいな状態に保つだけでなく、歯磨きで認知症の予防をすることに驚きました。普段あまり関心がなかったですが、講話を通して医療系に興味が湧きました。

【相談員】

相談員になるまでに、たくさんの道のりがあると知り、驚きました。特別な技術は必要なく、自分のことが理解できていって、相手に合わせてきちんと対話ができることが大切だということが分かりました。自分のことが分かっていないと、相手に対して偏見を持ったり、誤った判断をしてしまう可能性があるため、まずは自分を最大限に知っていきたいです。

【D-WAT】

私は、D-WATの講話を聞いて、まず、災害時派遣チームというボランティアがあるということを初めて知りました。活動内容などから福祉の観点から被災者支援を行い、主に、「会話」という何気ない所を大切にしていると聞き、驚き、会話をすることで情報を集め、心を元気づけることができ、それをもとに整備や支援を行うというのに、会話の重要性と自分の専門を活かして人を助けるというのがすごいと思いました。

【福祉用具】

高齢の方に合わせて、色々な種類の福祉用具の中から選んだり、福祉用具を使っている高齢の方も自分でできることが増え、笑顔になっていることが分かりました。リハビリ用の機械や車いす、階段昇降用の機械など、たくさんの種類の用具があることが分かりました。

【技能訓練】

講話を聞いて、技能訓練の仕事をしている方がいるから、安心してリハビリを受けることができたりするので、技能訓練の仕事はすごいな、と思いました。もし、立ち上がる時、毎回、人の助けが必要だったらとても大変だということが体験からも分かりました。

